特集

まちを、つくろう。

――新しい総合計画が始まります――

令和3～12年度のまちづくりの指針となる総合計画（第6次）が、4月から始まります。

総合計画は、市民意識調査やワークショップ、市民懇話会などで意見を集め、総合計画推進委員会で審議を行い作成しました。その内容について紹介します。

問合せ　総合計画課（☎372～3311・内線3642）

まちづくりの指針

総合計画とは、市が目指す10年後の将来像を明らかにし、その実現に向けたまちづくりの最上位計画となるものです。

令和3年度から始まる総合計画（第6次）では、市民の皆さんの意見から、まちづくりのテーマを「自然と創造の調和した豊かな都市」に、めざす都市像を「希望都市」「交流都市」「成長都市」に決定し、総合計画（第5次）を継承する形となりました。

人口減少への対応

市の人口は平成19年の6万1199人をピークに、現在も減少が続いています。国立社会保障・人口問題研究所の推計によると、令和12年には5万2264人まで減少すると見込まれています。

人口減少は、空き地・空き家の増加による景観の悪化や公共交通の維持困難、働く場所の減少などまちの衰退につながります。これらの問題を防ぐため、10年後の目標人口を6万人に設定し「人口増加プロジェクト」としてさまざまな施策に取り組みます。

令和5年にはボールパーク開業を予定。持続可能な都市経営と地域課題の解決につながるとして、ボールパーク構想と連携したまちづくりについても計画に盛り込みました。

このほかにも、めざす都市像の実現に向けた基本目標に沿って、さまざまな施策を推進します。

まちづくりのテーマ

自然と創造の調和した豊かな都市

めざす都市像

希望都市	だれもが希望を持って、輝けるまち
交流都市	多様な交流が生まれ、にぎわいと活力にあふれるまち
成長都市	未来に向かって、着実に成長するまち

基本目標

- ともに歩み笑顔が輝くまち
- 学び合い心を育むまち
- だれもが安全に暮らせるまち
- 住みよい環境にかこまれたまち
- 活力みなぎる産業と交流のまち
- つながり成長するまち

重点プロジェクトの設定

まちづくりのテーマとめざす都市像を実現するため、総合計画では６つの基本目標を掲げています。その中でも特に重点的に取り組むべき施策を「人口増加プロジェクト」として設定しました。

このプロジェクトでは、人口の増加に直結するような施策を重点化し、10の項目を掲げ定住人口の増加を目指していきます。

人口増加プロジェクト

子育て支援の充実

●保育の定員拡大や受入体制の整備
●産科の誘致
●包括的な子育て支援

健康増進・活力向上

●健康づくりの支援
●スポーツを通した交流の推進

学校教育の充実

●小中一貫教育の推進
●コミュニティ・スクールの推進
●外国語教育の推進　など

文化財の保存・活用と芸術文化の振興

●国指定史跡旧島松駅逓所の大規模改修とその周辺地域の一体的な整備
●芸術文化を通した交流の推進

地域コミュニティの推進

●自治会・町内会などの支援
●学びを通したコミュニティづくりの推進

公共交通の充実

●利便性の高い持続可能な公共交通網の構築

都市機能の整備

●ＪＲ北広島駅周辺と新駅周辺の一体的なまちづくり　など

良好な居住環境の確保

●空き地・空き家の流動化促進
●住み替え支援
●市街地での土地利用の見直し

就業場所の確保

●就業機会の拡大
●新たな産業集積の推進

観光の振興

●地域資源を活用した観光振興の展開
●近隣市町村などと連携した効果的なプロモーションの展開

ボールパーク構想による新たなまちづくり

ボールパーク構想は、新球場を核としたボールパークを整備することで、まちづくりのさまざまな分野に波及効果を生み出すことを目的とした官民連携プロジェクトです。

構想を推進することで、道路の新設や拡幅、公共交通の整備、ＪＲ新駅の整備など交通機能や産業機能の充実を目指します。

子どもたちが未来に夢や希望を抱いたり、市民がこのまちに誇りと愛着を感じたりすることも期待されています。

総合計画推進委員会委員を募集します

対象　市内にお住まいでまちづくりに関心があり、市の審議会の委員ではない18～70歳（５月１日現在）

募集人数　１～２人

内容　総合計画の作成や進行管理、評価など（年１～３回程度）

任期　５月１日～令和６年４月30日

報酬　日額6,000円と交通費

申込み　３月26日までに、次のいずれかの方法で申し込んでください。

●市ホームページ「市役所ご案内→職員・委員等募集→委員等」にアクセスし、専用フォームに必要事項を入力し送信

●住所・氏名・生年月日・電話番号・職業・志望動機、まちづくりについての意見（様式自由で600～800字程度）を記入し、直接か郵送で総合計画課（〒061-1192住所不要・内線3642）

９年間の委員を経験して

９年前に総合計画推進委員の募集があり、まちづくりに関心を持っていたため応募しました。旅行が大好きでさまざまな街を見てきましたが、フィンランドのタピオラ団地をモデルに整備された北広島団地地区は、世界的に見てもとても良い居住環境であると感じています。

９年間で第５・６次総合計画の作成に携わり、自分が感じた北広島の素晴らしさを市に伝えることができました。また、日々の暮らしの中で考えることに変化が生まれました。そして何よりも自分自身にとって勉強になり、居住環境の素晴らしさを再認識できたことが良かったです。

総合計画の推進を通して、夢を語ることができる若い世代が伸び伸びと楽しく働くまちになるよう、期待しています。

これから委員になる方には、委員会の中でぜひ北広島の未来について夢や希望を提言してほしいと思います。

総合計画推進委員
桂裕章さん

＊総合計画（第６次）は、３月15日から総合計画課と各出張所、団地住民センター、エルフィンパークでご覧になれます。

＊総合計画（第６次）作成の経過など詳しくは、市ホームページ「市役所ご案内→行政資料室→市の各種計画→総合計画関係」からご覧ください。